

「原発」国民投票法の制定の請求

様

原発の将来をどうするのか。世界に目を向けると、スウェーデン、イタリア、リトアニアなど数多くの国で、その是非が国民投票に諮られています。しかし、福島第一原発のメルトダウンを経験したこの日本でこそ、「**原発**」国民投票 が実施されてしかるべきではないでしょうか？

原発事故もエネルギー供給も、国民全員に影響を与えます。私たち一人ひとりが、原発という単一争点についての投票用紙を手にして、その考えを問われ、よく学び、話し合っ、国家としての最終的な決定に繋げていくべきだと考えます。

国民投票は、代議制民主主義を否定するものではなく、それを補完するものです。国民の多様な意見を政治に適切に吸い上げるため、いま、代議制を補完するチャンネルが求められています。政治への信頼を取り戻すためにも、まずは政治家が国民の判断力を信頼して、原発の是非を国民に諮るべきではないでしょうか。

そのために、憲法改正が不要な、**諮問型の「原発」国民投票法**を成立させる必要があります。「**原発**」国民投票法案 の国会提出およびその成立に向けて、積極的に活動してください。

わたしのひとこと